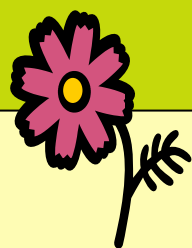


至誠 飛躍! 印旛明誠高校

楽しく、熱くそして爽やかさに - 体育祭 -



10月5日(木)、秋桜祭体育の部(スポーツ大会)を行った。全年次縦割り(A組:黄色, B組:青色, C組:緑色, D組:赤色)で組を構成し、優勝を目指して互いに競い合った。

応援は各色ともダンスパフォーマンスを取り入れて楽しさを演出、各競技では熱くそして爽やかに戦う姿が見られた。

総合優勝 緑組 2位 青組
 応援賞 赤組
 大縄跳び 1位 緑組:2C 2位 青組:3B
 男子 サッカー(青組:3B) ソフトボール(緑組:2C)
 バasketボール(青組:2B)
 女子 Basketball(緑組:2C) ドッジボール(緑組:3C)
 ムカデリレー(赤組) いかだ流し(緑組) 棒引き(青組)
 色別対抗リレー 1位 黄組 2位 青組



以下は各団長(副団長)の感想である。

▼黄組:金谷弘将(3A・南山中) 今年の体育祭は練習時間がとても短く、少ない時間で歌とダンスの両方を覚えなかつたが、本番のダンスは完璧で歌は前日に初めて練習したのに声が出ていたと思う。大縄や団体種目、球技でも他の組に負けてしまったが、色別対抗リレーでは優勝できたので最高にうれしかった。3年生は部活を引退し、かなり体力が落ちていたと思うが、最後まで1・2年生に負けないうくらい全力で頑張ってくれたので最高の体育祭になった。▼青組:久保田成(3B・鎌ヶ谷中) 10月5日、僕たちは高校生活最後の行事の体育祭を迎えました。僕は応援団長で、最初は本当に自分には向いてないと思っていて、先生にも話をしに行くほどでした。でも、B組の応援団の人たちが僕にやってほしいと言ってくれたので引き受けました。本番まで緊張と不安しかなかったのですが、いざ当日を迎えると気合と勇気、そして勝ちたいという気持ちになっていました。結果は2位だったけど、今までで一番記憶に残る体育祭でした。

▼緑組:腰川達也(3C・印西中) C組(緑組)の応援団長として優勝できたのはとてもうれしかった。みんなが一致団結できていたからだと思う。自分は団長として行動できたかわからないし、自分だけではダメだったと思う。けど応援団のみんなが支えてくれたおかげで、自分も頑張ることができた。体育委員長として活動したが、みんなが協力して盛り上がっている姿を見て良かった。悔いのない体育祭だったと思う。▼赤組:根本航(3D・南山中) 体育祭までの期間は焦りと不安ばかりでした。

歌も決まらず、振付も考えなければならず、本番で上手くいく自信がまったくありませんでした。しかし、本番が近づくとつれ各クラスの応援団、そして各クラスの皆が協力的に練習に取り組んでくれたおかげで、本番では応援賞という最高の賞を取ることができました。団長として赤組をまとめられたという自信はありませんが、全員で目標に向かって努力したことは私の一生の思い出です。

大学合格ランキング 26位

ダイヤモンド社が発行しているダイヤモンド・セレクト(2017/08)に「大学合格ランキング」が掲載されている。

順位	学校名	合格力
41	成田国際	1.1
42	国府台	1.1
45	印旛明誠	1.0
52	津田沼	0.6
55	柏の葉	0.6

(ダイヤモンド・セレクト(2017/08)より抜粋)

このランキングは、「1校ごとの国公立大学上位100校の合格者数に合格した各大学の学部の偏差値を掛け、それを卒業生数で割った数値を「国公立100大学合格力」とした」ものである。

本校は、県内私立高校を含めた順位は45位であるが、公立高校に限れば130校中26位である。この順位は、ベネッセの社員が話した「印旛管内の公立高校で生徒が一番伸びている学校は印旛明誠である」ということを証明しているように思う。

本校では、授業の少人数化、多様な選択科目の開設、MEISEIアカデミー(土曜進学学習会、進学補習、スタディ・サプリー)の実施等により生徒の力を伸ばすことに力を入れているが、基本的なスタンスは「生徒の面倒を徹底してみること」である。私達の取組がこのような形で評価され、大変うれしく思っている。